

年頭のあいさつ



連帯して困難を克服して いきましょう

一般社団法人 山形県自家用自動車協会
会長 平井 康博

主観的な動き等の問題が発生し、世界全体の安全保障や経済に大きな影響を及ぼしています。それらが、G20等国際会議の場でもグローバルサウスと呼ばれる国々との間に隔たりが生じ、問題解決のための合意を見いだせない混沌とした状態が続いています。一方国内では、新型コロナウイルス感染症が感染拡大の5類に移行し、インバウンドによる観光業

も徐々に復活し、停滞していた経済活動が活発化してきております。本年を展望すると、「生成AI技術の発展」「より高度化した自動運転」「インバウンド需要拡大」がキーワードとなり、様々な経済活動を牽引していくものと思われまします。我々の想像を凌駕するスピードで技術革新が進んでおり、特定の分野では省力化や合理化により進

化していくものと考えられます。しかしながら産業界では働き方改革関連法で5年間の猶予期間が設けられていた建設業、自動車運送業務(運送)物流等に時間外労働の上限規制が適用されるいわゆる2024問題が、大きくのしかかってくる年でありまします。共通の課題は、組織構造上の長時間労働の常態化と少子高齢化による人

材不足です。この問題が解消されなければ、企業の減収減益や従業員の収入減、運賃や工事費の値上げなど新たな問題の派生が予想されております。一企業の問題でなく社会全体の問題として捉え、各企業が連帯して早急に問題を解決する必要があります。当協会では、過去3年低調であった主要業務である自動車保管場所現地調査業務、自動車登録業務等の実績が、昨年後半から県内の自家用自動車の販売件数が回復してくとともに上昇し、ようやく業績回復の兆しが見えてきました。また、東北自動車共済の自動車共済及び自動車損害賠償責任共済の代理所事業も着実に実績を積み重ねております。

山形県自家用自動車協会は、公共の安全と福祉に寄与することを目的に設立された団体であり、引き続き関係機関と連携して、安全で快適な車社会の実現に向けて各事業に取り組んでまいります。本年は「甲辰(きのえたつ)」「甲」と「辰」の組み合わせから、成功という芽が成長していき、姿を整える縁起が良い年と言われまします。皆様の益々のご健勝と多くの問題にも立ち止まるのではなく、力強く前に進んでいくことを心から祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。

山形県 自家用自動車

定価1部・20円
会員の購読料は会費に含まれております
発行所
山形市大字漆山字行段1422
一般社団法人
山形県自家用自動車協会
電話023 (686) 3951
https://www.y-jikayo.or.jp
印刷/轉刷林印刷所

謹賀新年
令和6年新年号

あけましておめでとうございませう。令和6年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。貴協会におかれましては、日頃より自家用自動車の健全な発展と交通安全思想の普及に努められ、また、国土交通行政の円滑な推進に、格

別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、経済活動は活気を取り戻しつつありましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、原油・原材料価格の高騰・円安など依然として社会経済や国民生活に与えた影響が大

きい1年でした。一方半導体不足や部品調達難が緩和し、昨年11月の軽自動車を含む県内の新車新規登録・届出台数は15ヶ月連続で前年同月を上回っており、回復傾向が続いています。昨年1月から、電子車検証の交付、自動車重量税、検査登録手数料の

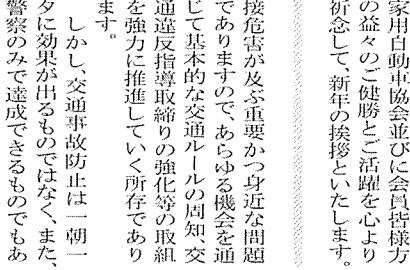
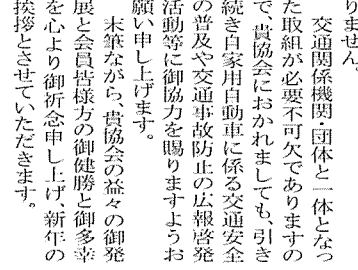
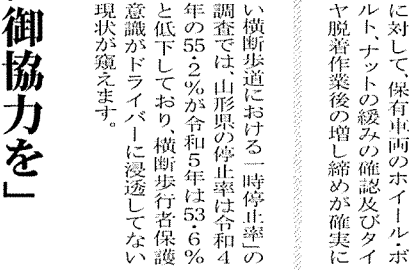
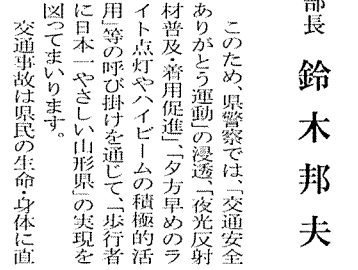
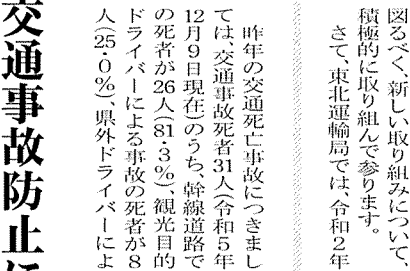
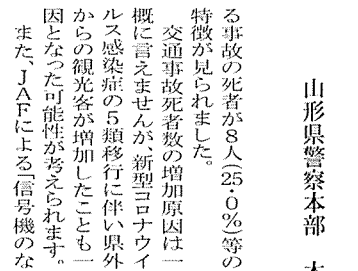
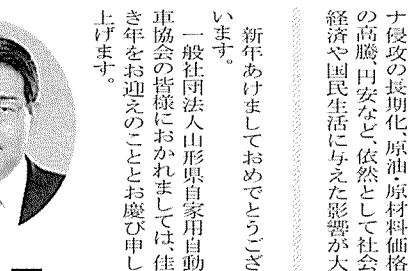
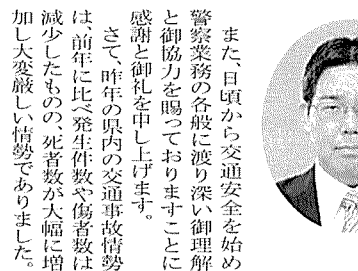
度より「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を展開し、大型車のホイールボルト、ナットの脱落や緩みなどによる車輪脱落事故防止に向けた取り組みを行っているところで、昨年12月、青森県八戸自動車道下り線において、走行中の大型トラックから左後輪のタイヤが

度より「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を展開し、大型車のホイールボルト、ナットの脱落や緩みなどによる車輪脱落事故防止に向けた取り組みを行っているところで、昨年12月、青森県八戸自動車道下り線において、走行中の大型トラックから左後輪のタイヤが

度より「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を展開し、大型車のホイールボルト、ナットの脱落や緩みなどによる車輪脱落事故防止に向けた取り組みを行っているところで、昨年12月、青森県八戸自動車道下り線において、走行中の大型トラックから左後輪のタイヤが

度より「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を展開し、大型車のホイールボルト、ナットの脱落や緩みなどによる車輪脱落事故防止に向けた取り組みを行っているところで、昨年12月、青森県八戸自動車道下り線において、走行中の大型トラックから左後輪のタイヤが

度より「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を展開し、大型車のホイールボルト、ナットの脱落や緩みなどによる車輪脱落事故防止に向けた取り組みを行っているところで、昨年12月、青森県八戸自動車道下り線において、走行中の大型トラックから左後輪のタイヤが



交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま

交通安全の各般に渡り深い御理解と御協力を賜っておりますこと感謝と御礼を申し上げます。さて、昨年の県内の交通事故情勢は、前年に比べ発生件数や傷者数は減少したものの、死者数が大幅に増加し大変厳しい情勢でありま



年頭の辞

一般社団法人 全国自家用自動車協会
会長 藤野公孝

新年あけましておめでとうございます。

令和6年の輝かしい新春を、ご家族の皆様とともに、お健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の運営に對しまして、特段のご支援・ご協力を賜っており、誠にありがとうございます。

御高承の通り、昨年は新

交通安全ありがとう運動」展開中

山形県警察は、歩行者が横断歩道で止まってくれた車にお辞儀などで感謝の気持ちを伝える「交通安全ありがとう運動」を展開しています。

横断歩道は歩行者が最優先です。ドライバーの皆さんは、横断歩道で渡ろうとしている歩行者を見かけた時は一時停止し、手などで歩行者に横断を

山形県警察

交通安全ありがとう運動



横断歩道は歩行者が最優先です。ドライバーの皆さんは、横断歩道で渡ろうとしている歩行者を見かけた時は一時停止し、手などで歩行者に横断を

交通安全ありがとう運動

やさしい山形県 日本一 歩行者に

令和6年使用「交通安全年間スローガン」決まる!

全日本交通安全協会

全日本交通安全協会は、交通安全活動などに活用される「令和6年使用交通安全年間スローガン」を決定し公表しました。交通安全年間スローガンは、全日本交通安全協会と毎日新聞社の共催で毎年募集しているもので、今年で59回目となります。

多数の応募作品の中から、内閣総理大臣賞(最優秀作)、内閣府特命担当大臣賞(優秀作)、警察庁長官賞(優秀作)それぞれ3点と、文部科学大臣賞(優秀作)1点、全日本交通安全協会会長賞(佳作)6点が選ばれました。

今回の最優秀作の内閣総理大臣賞には次の3点で、令和6年使用のポスターへも使用される予定です。

- ☆ 一般部門A (運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの)
今日もまた あなたの無事故 待つ家族
- ☆ 一般部門B (歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの)
身につけよう 交通ルールと ヘルメット
- ☆ 子ども部門 (子どもたちに交通安全を呼びかけるもの)
わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり

一般社団法人 山形県自家用自動車協会

協会事業のご案内

協会は、地域社会における自家用自動車の健全な発展に寄与し、会員皆様の利便性の向上を図り、自動車に関わる事業を通じて交通秩序の確立と安全意識を高揚するため、次の業務を執行しております。

◆主な業務

- ◎自動車検査・登録申請届出等の取扱い
- ◎整備管理者選任届出等の指導、助言
- ◎整備管理者等講習会の開催
- ◎優良整備管理者・同選任事業所の顕彰
- ◎自家用自動車の複雑・加重で不平等な税負担の是正要望
- ◎道路の整備改善に関する陳情・要請
- ◎自動車何でも相談・交通事故相談の受付
- ◎機関紙「山形県自家用自動車」の発行
- ◎会員への自動車関連情報の提供等

◆受託事業

- ◎国土交通省から
- ◎自賠責共済(保険)無保険車への加入指導
- ◎山形県から
- ◎自動車保管場所現地調査
- ◎自動車税(環境性能割・種別割)の申告書受付
- ◎県証紙・県税証紙の売捌き
- ◎東北自動車共済協同組合から
- ◎自動車共済(保険)の取扱
- ◎自動車損害賠償責任(保険)の取扱
- ◎山形県ハイウェイ事業協同組合から
- ◎高速道路料金後納制度利用事業への支援
- ◎物資共同購買事業への支援
- ◎その他協力支援事業
- ◎自動車関係諸団体と共催
- ◎自動車の点検整備・不正改造防止等の各種運動
- ◎交通安全・交通事故防止の啓発広報活動

謹んで新春のお慶びを申し上げます

会員皆様の益々のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。今年もよろしくお祈り申し上げます。



山形県自家用自動車協会

事務局長 平井 康司

監事 宇野 謙二

専務理事 小島 哲

理事 鈴木 真一

理事 徳田 裕一

理事 阿部 信

理事 山田 裕

理事 藤谷 信

理事 濱野 謙二

理事 廣瀬 裕

理事 山田 裕

理事 阿部 信

理事 山田 裕

理事 徳田 裕

令和6年1月4日から 軽自動車の車検証が電子化されました!

軽自動車検査協会の 軽自動車検査協会の

登録車において令和5年1月に先行して導入された自動車検査証の電子化について、軽自動車においても令和6年1月1日から交付をスタートしました。

これまでの車検証よりコンパクトなA6サイズの厚紙で裏面にICチップを内蔵したICタグを取り付けられています。電子車検証には、必要最小限の記載事項を除き自動車検査証情報はICタグに記録されます。そのため、ユーザーや関係事業者は、読み取り機能付きスマートフォンやICカードリーダーが接続されたPCで、車検証閲覧アプリを活用して、有効期間、使用者住所、所有者情報などのICタグ情報を確認することになります。

また、検査標章も黄色からブルーへと登録車と同様のデザインに変更されました。



大型車の車輪脱落事故防止 緊急街頭点検を実施!

東北運輸局

東北地方で令和4年度に発生した大型車の車輪脱落事故件数は過去最多の54件となりました。これを受け、昨年10月から実施中の「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」の一環として、ホイールナットの締付状態を確認する緊急街頭点検を11月21日、山形県東根市関山地区の国道48号線駐車帯において実施しました。

今回の街頭点検では、延べ26台を点検した結果、2台の車両について増し締めを行っております。そのような中、12月1



緊急街頭点検の様子

①増し締め
50kmから100km走行した規定のトルクで増し締めを実施すること。
②ゆるみの確認

整備管理者等講習会を開催 延べ308名が受講

県自家用自動車協会

山形県自家用自動車協会は、10月から11月の間に延べ4日間、令和5年度整備管理者等講習会を開催しました。

この講習会は、自家用自動車に係る自動車使用者又は整備管理者、同補助者を対象に、道路運送車両法に基づく日常点検や定期点検整備的の確に行い、自動車を適切に保守管理していただくことを目的に開催しているものです。

今年度は、山形運輸支局の担当官、元山形運輸支局の担当官、山形県警

と事故防止のポイントについて説明がありました。歩行者被害の死亡事故は、夕暮れが早まる10月に急増しているとともに、午後5時台が最も多く発生しているとの分析から、早めのライト点灯とハイビームの積極的な活用が大切としています。

また、夜間は、車のヘッドライトの特性から、運転者から見て右側から横断する歩行者が死角になりやすいため、右側にも充分注意を払って運転してほしいとの説明がありました。

交通企画課担当官からは、歩行者が被害となった交通死亡事故の発生状況

と説明がありました。このうち、普通貨物車は12.65年で前年より0.22年の伸び、小型貨物車は11.26年で前年より0.13年伸びています。

乗用車(軽自動車を除く)は9.22年で、前年より0.19年伸びて、31年連続して高齢化しています。

乗用車の平均車齢9.22年 31年連続して高齢化

自動車検査登録情報協会

平均車齢とは、自動車

が初年度登録してからの経過年数の平均であり、人間の平均年齢に相当するものです。新車販売台数が減少し、自動車が長く使われると高齢化が進み、逆

に新車販売台数が増加し、高齢自動車のスクラップや海外輸出が増えると若返るとされています。

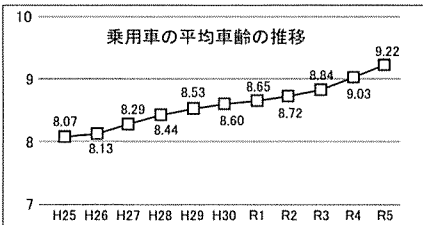
一般財団法人自動車検査登録情報協会によると、令和5年3月末の車種ごとの平均車齢は次のとおりです。

乗用車(軽自動車を除く)は9.22年で、前年より0.19年伸びて、31年連続して高齢化しています。

普通車は8.66年で前年より0.15年の伸び、小型車は9.84年で前年より0.25年伸びています。

貨物車(軽自動車、被けん引車を除く)は11.84年で前年より0.17年伸びて、31年連続して最高齢

となり、このうち、普通車は8.66年で前年より0.15年の伸び、小型車は9.84年で前年より0.25年伸びています。



【令和5年度整備管理者等講習会開催状況】

開催日	開催場所	受講者数
1 10月11日(水)	山形県トラック総合会館	82名
2 10月19日(木)	山形県トラック総合会館	78名
3 10月26日(木)	いろり火の里なの花ホール	76名
4 11月17日(金)	山形県トラック総合会館	72名



講習会の様子

田川支部
千九七〇一〇〇四
鶴岡市大寺寺町一丁目十四号
電話 〇三五(五) 二五三二代 正

東北自動車共済協同組合
山形県支部
千九〇二二六
山形市大字漆山字行段一四三番地(山形県自動車会館三階)
電話 〇三三(三) 三九五二(代)

東北自動車共済協同組合
山形県サービスセンター
千九〇二二六
山形市大字漆山字行段一四三番地(山形県自動車会館三階)
電話 〇三三(三) 六二六(代)

山形県ハイウェイ事業協同組合
千九〇二二六
山形市大字漆山字行段一四三番地(山形県自動車会館三階)
電話 〇三三(三) 三三〇〇(代)

山形県自家用自動車協会
千九〇二二六
山形市大字漆山字行段一四三番地(山形県自動車会館三階)
電話 〇三三(三) 三三〇〇(代)

山形県自家用自動車協会
千九〇二二六
山形市大字漆山字行段一四三番地(山形県自動車会館三階)
電話 〇三三(三) 三三〇〇(代)

山形県自家用自動車協会
千九〇二二六
山形市大字漆山字行段一四三番地(山形県自動車会館三階)
電話 〇三三(三) 三三〇〇(代)

第42回理事会を開催

県自家用自動車協会

昨年11月15日、山形市のヤマコホールにおいて、山形県自家用自動車協会第42回理事会が開催されました。

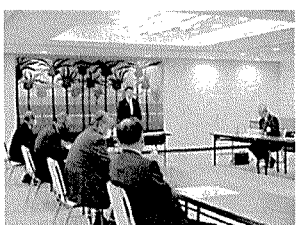
この度の理事会は、令和5年度上半期事業報告並びに収支計算承認などを審議するため開催したもので、理事10名が出席しました。

会議の冒頭、平井会長は、令和5年度上半期については、コロナ禍以前には及ばないもののインバウンドにより観光需要が回復傾向

にあり、宿業、旅客輸送業等に明るい兆しが見える反面、人手不足から需要があっても対応できない等の深刻な問題も発生している。そのような状況下ではあるが、当協会の上半期の収支については増収の状態であり、折り返すことができた。事業報告では、自動車検査登録申請等の取扱件数が前年同期比1,663件の減少に対し、自動車保管場所現地調査件数では1,766件増加したこと

などを報告、収支計算では上半期の収支は前年度を上回る2千1百24万9千円の黒字となったことを報告しました。

議案は満場一致で承認され、その後、事務局から整備管理者等講習会の開催状況などについて報告がなされました。



理事会の様子

大雪時の大型車立ち往生防止対策について

国土交通省では、令和2年12月以降の大雪により、関越道・北陸道等において多くの大型車両が立ち往生し、大量の車両が路上に滞留する事象が発生したことを踏まえ、今冬も①車両対策、②運送事業者対策、③荷主対策を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。

上残っていることを、プラットフォームで確認する。
・チェーンの携行、立ち往生する前の早めの装着
②運送事業者対策
・年末年始の輸送等に関する安全総点検では実施項目・大雪に対する輸送の安全確保の実施状況について、重点的に確認する。
・運送事業者は、大雪時等の輸送で安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、運行中止等の指示や、冬用タイヤの溝の深さを滑り止めの措置について確認する。

国土交通省
・雪道において、悪質な立ち往生事象が発生した場合、措置が不十分と判断された場合は行政処分の対象となります。
③荷主対策
・大雪などの異常気象による突発的な事象で、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ない場合と認められる場合には、運送経路の変更等を認める。
・大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配達時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控える。

常気象により、運送に支障を来すことが予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配達時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控える。
④その他気象情報の活用
・気象庁HPの今後の雪も活用うえで、事前に天気予報をご確認ください。

大雪での立ち往生に注意！



https://www.jma.go.jp/bosai/snow/

10月の県内新車新規登録・届出数

10月の県内新車新規登録・届出数は、前年同月比7.8%増と増加となりました。

登録自動車	乗用	普通	5年11月		増減	率
			前年同月	増減		
乗用自動車	普通	1,113	906	207	22.8	
	小型	943	885	58	6.6	
貨物自動車	普通	239	210	29	13.8	
	小型	82	84	▲2	▲2.4	
計			2,377	2,085	292	14.0
軽自動車			1,857	1,859	▲2	▲0.1
小型二輪車			69	49	20	40.8
総合計			4,303	3,993	310	7.8

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。
注2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

タイヤチェーンで雪道の急坂を上れるか検証

JAF(一般社団法人日本自動車連盟)は、タイヤチェーンの種類別の登坂性能を検証し、その結果をホームページに公開しています。

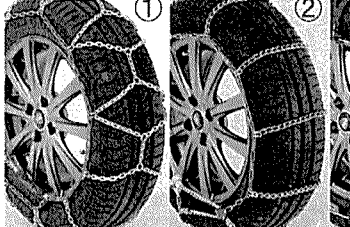
検証は、前輪駆動のコンパクトカーを使用し、前輪にタイヤチェーンを装着し、坂道を上りきれるかをテストしたもので、

タン系の3種類を使用
・勾配15%(約8.5度)と勾配20%(約11.3度)の坂道(全長約50m)を条件としてそれぞれ3回実施し、その結果は次のとおりです。
・勾配15%の坂道では、全てのチェーンで上りきれた。

①金属チェーン(亀甲型) ②金属チェーン(はし型) ③非金属チェーン(はし型)

勾配20%の坂道では、金属チェーン(亀甲型)のみ上りきれたが、途中タイヤが空転することもあり安心感はない。
JAFは今回の結果は一例であり、雪質や車の駆

勾配	①金属チェーン(亀甲型)			②金属チェーン(はし型)			③非金属チェーン(ウレタン系)		
	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
15%	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20%	○	○	○	○	○	○	○	○	○



タイヤチェーンの種類

11月の県内新車新規登録・届出数

11月の県内新車新規登録・届出数は、前年同月比6.9%増と増加となりました。

登録自動車	乗用	普通	5年11月		増減	率
			前年同月	増減		
乗用自動車	普通	1,220	896	324	36.2	
	小型	846	891	▲45	▲5.1	
貨物自動車	普通	247	230	17	7.4	
	小型	134	110	24	21.8	
計			2,447	2,127	320	15.0
軽自動車			1,865	1,925	▲60	▲3.1
小型二輪車			31	32	▲1	▲3.1
総合計			4,343	4,084	259	6.3

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。
注2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

自動車保険を見直してみませんか？

まずはお見積りを！

東北自動車共済のお見積り例

年齢35歳以上補償(74歳以下)、20等級(事故有期間0年)の場合
(ホンダ N-BOX/型式:JF5)
初年度登録 令和5年12月/新車割引有

車両補償セット(一括払い)なら	48,180円
※1事故最大210万円まで補償 一般車両タイプ/免責金額0万円	
車両補償を外すと	
一括払いで	20,410円
分割10回払いで月々	2,140円

お見積りは令和6年1月現在の条件で計算しております。
(補償内容)①対人賠償:無制限②対物賠償:無制限(対物超過修理費用特約)
③人身傷害:1名3,000万円④ロードアシスタンス付

安心の自動車共済

【自動車共済の特徴】

- 共済事業なのでお得な掛金！
- 誠実な事故対応！
- 全国どこでも安心の輪！
- 自賠責共済も取扱い！

【自動車共済新規キャンペーン実施中！】(～令和6年3月31日まで)
～更新手続きの前に、共済のお見積りをご覧になりませんか？～

キャンペーン期間中、新たに自動車共済をご契約いただいたお客様に「雪の妖精」シマエナガがデザインされた「東北自共オリジナル・デイリーバッグ」(限定)をプレゼントいたします。さらに、自動車共済のお見積りをご依頼されたフリート契約のお客様に豪華「東北自共オリジナル・タオル」(10枚セット)をプレゼントいたします。この機会に是非ご検討ください。

一般社団法人 山形県自家用自動車協会
〒990-2161 山形市大字漆山字行段1422 (TEL)023-686-3951)又は協会各支部 (TEL)023-686-3951)